

## 2011年（平成23年）3月期 第3四半期のご報告にあたって

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2011年3月期第3四半期の連結業績の概要をこのウェブサイトを通じてご覧いただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第3四半期連結累計期間（2010年4月1日から同年12月31日までの9ヶ月）における当社グループの業績は、売上高は5,752億円、営業利益は282億円、四半期純利益は107億円となりました。当期間はUSドル、ユーロともに期初から大幅な円高基調が続く中で為替換算の影響を強く受けたため、売上高は前年同期比で減収となりましたが、営業利益、四半期純利益では増益の決算となりました。事業別に概観しますと、情報機器事業ではこの円高影響を最も強く受けましたが、オフィス用MFP（デジタル複合機）の新製品が牽引して前年同期を上回る販売台数となり、増収増益となりました。オプト事業では10年夏から始まった顧客先における生産調整の影響が長引き、TACフィルム（液晶偏光板用保護フィルム）やガラス製ハードディスク基板、ブルーレイディスク用光ピックアップレンズ等の主力製品の販売が全般に伸び悩み、前年同期並みの売上・利益に留まりました。また、ヘルスケア事業では円高影響に加えてフィルム製品の販売減少により減収減益となりました。

一方、直近3カ月の業績を示す当第3四半期連結会計期間（2010年10月1日から同年12月31日まで）における当社グループの業績は、売上高1,834億円、営業利益56億円、四半期純利益21億円となり、前年同四半期比で減収減益となりました。需要変動に伴う販売数量の伸び悩み、販売品種構成の変化や為替の円高影響等を受け、上半期まで順調に進捗してきた当社グループ収益の回復ピッチが事業全般にわたって鈍化しました。

このような状況を踏まえ、足元における販売動向や価格変動の影響など前回予想（2010年10月）からの事業環境の変化に鑑み、通期業績予想を修正することといたしました。売上高につきましては前回予想から200億円減額し7,800億円に、営業利益・経常利益につきましては50億円減額し、それぞれ450億円、380億円に見直しました。当期純利益につきましては、写真関連の事業整理損失引当金の戻入等の特別利益が見込まれることから前回予想の200億円を据え置きました。

当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況にありますが、ここに見直した業績目標の達成に向けて各事業領域において現在進めております諸施策をスピードあげて着実に実行してまいり所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

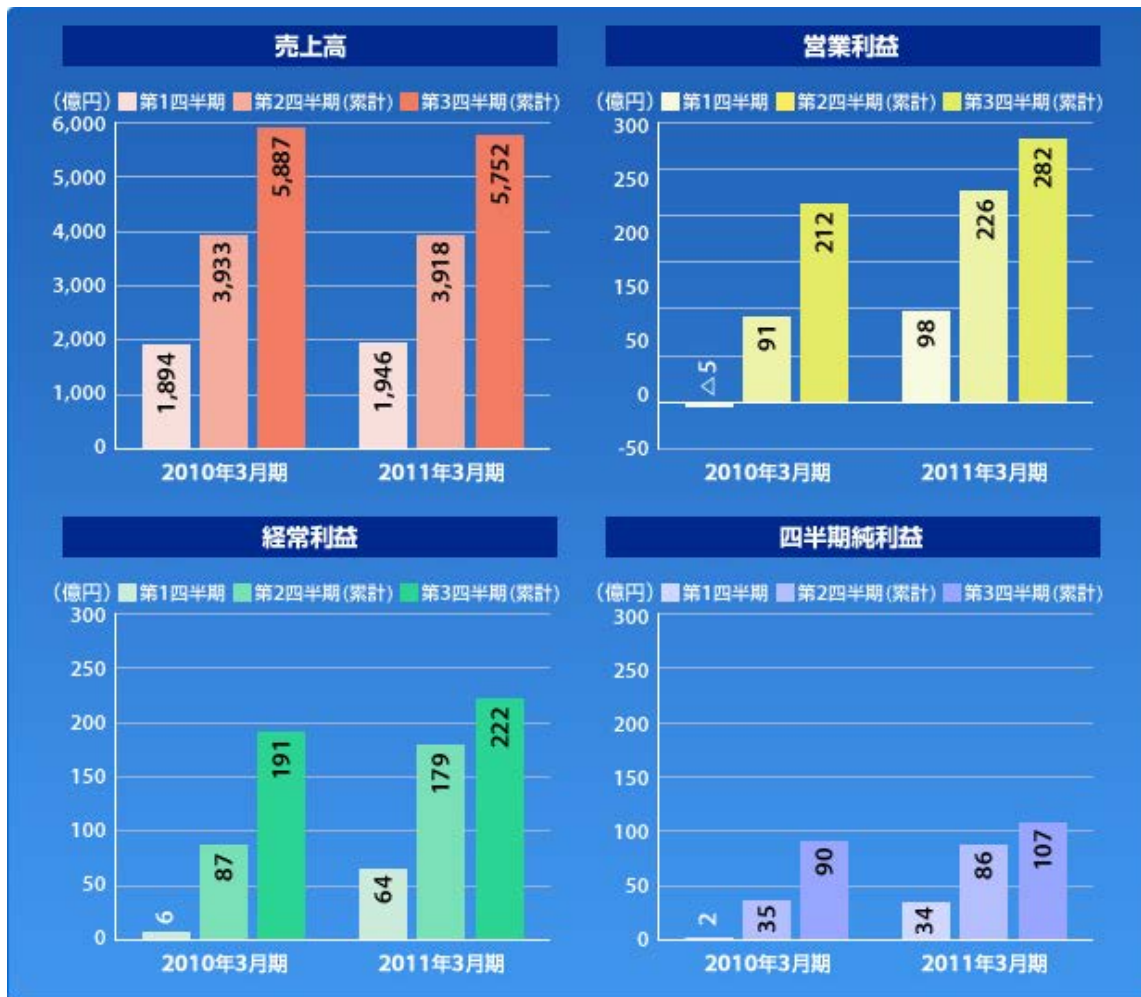
2011年2月

コニカミノルタホールディングス株式会社  
代表執行役社長  
松崎 正年

# ハイライト

(単位：億円、未満切捨)

	第1四半期 (2010年4月1日～ 2010年6月30日)		第2四半期 (累計) (2010年4月1日～ 2010年9月30日)		第3四半期 (累計) (2010年4月1日～ 2010年12月31日)	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減
売上高	1,946	52	3,918	△15	5,752	△134
営業利益	98	104	226	134	282	70
経常利益	64	58	179	91	222	31
四半期純利益	34	31	86	51	107	17



(単位：億円、未満切捨)

	2011年3月期 第3四半期末	2010年3月期末	増減
総資産	8,579	8,657	△78
負債	4,497	4,450	47
純資産	4,081	4,207	△125

自己資本比率の推移



有利子負債残高の推移



(単位：億円、未満切捨)

	第1四半期 (2010年4月1日～ 2010年6月30日)		第2四半期 (累計) (2010年4月1日～ 2010年9月30日)		第3四半期 (累計) (2010年4月1日～ 2010年12月31日)	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減
営業活動によるキャッシュ・フ ロー	74	△68	318	△222	394	△490
投資活動によるキャッシュ・フ ロー	△87	3	△192	27	△337	△29
フリー・キャッシュ・フロー	△12	△64	125	△195	57	△519
財務活動によるキャッシュ・フ ロー	△28	△182	△77	△151	220	591

## 情報機器事業のMFP新製品販売拡大により、増益を達成

売上高

**5,752** 億円(前年同期比  $\Delta$ 2.3%)  
(為替影響除く前年同期比 +4.6%)

営業利益

**282** 億円(前年同期比 +33.2%)  
(為替影響除く前年同期比 +112.6%)

情報機器事業では、当期間を通して円高の影響を強く受けましたが、採算性の高いオフィス用MFP（デジタル複合機）新製品の好調な販売により、前年同期比で増収増益となりました。一方、オプト事業では、2010年夏から始まった顧客先における生産調整の影響が長引いた結果、主要製品の販売が全般的に伸び悩み、前年並みの売上高に留まりました。またヘルスケア事業は、フィルム製品の販売減少や円高の影響により減収減益となりました。

経常利益

**222** 億円

(前年同期比 +16.4%)

四半期純利益

**107** 億円

(前年同期比 +19.8%)

経常利益：営業外損益において円高に伴う為替差損の計上等により59億円の費用超過となり、経常利益は222億円となりました。

四半期純利益：特別損益では、米国CTP（印刷用プレート）事業の売却に伴う事業構造改善費用や有価証券評価損の計上等により60億円の損失超過となり、税金等調整前四半期純利益は前年同期比 $\Delta$ 7.4%の162億円、四半期純利益は107億円となりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

## 情報機器事業、オプト事業共に伸び悩み減収減益

売上高

**1,834** 億円(前年同四半期比  $\Delta$ 6.1%)  
(為替影響除く前年同四半期比 +1.1%)

営業利益

**56** 億円(前年同四半期比  $\Delta$ 53.1%)  
(為替影響除く前年同四半期比  $\Delta$ 9.0%)

経常利益

**43** 億円(前年同四半期比  $\Delta$ 58.0%)

四半期純利益

**21** 億円(前年同四半期比  $\Delta$ 60.6%)

情報機器事業では、円高による為替換算の影響に加え、オフィス分野およびプロダクションプリント分野共に採算性の高い新製品の販売を十分に伸ばしきれず、減収減益となりました。またオプト事業では、需要変動の影響を受け主要製品の

販売数量が総じて伸び悩み、減収減益となりました。ヘルスケア事業でも、フィルム製品の販売減少や円高影響を受け、減収となりました。

これらの結果、前年同四半期比較では減収減益の決算となりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別業績

▼情報機器事業 ▼オプト事業 ▼ヘルスケア事業

【情報機器事業・9ヶ月累計】

<2010年4月1日～2010年12月31日>

採算性の高いMFP新製品の販売好調により、増収増益

売上高

**3,963** 億円

(前年同期比 +0.6%)  
(為替影響除く前年同期比 +9.5%)

営業利益

**259** 億円

(前年同期比 +43.8%)  
(為替影響除く前年同期比 +119.4%)

オフィス分野

国内外の主要市場では、09年度より発売した「bizhub(ビズハブ)」シリーズがカラー機中心に好調に推移しました。新興国市場でも、モノクロ機の専用モデルを投入したことにより、販売台数が伸長しました。また、OPS(Optimized Print services)のグローバル展開を進めると共に、ITサービスの強化を図るため、2010年11月にオランダのGetronics社と提携、更に2010年12月には米国のAll Covered社を買収しました。

プロダクションプリント分野

新シリーズ「bizhub PRESS (ビズハブプレス) C8000/C7000/C6000」のカラー3機種をラインアップに加えて、デジタル商業印刷市場の本格開拓に着手しました。

【情報機器事業・3ヶ月】

<2010年10月1日～2010年12月31日>

新製品の販売を伸ばしきれず、減益

売上高

**1,302** 億円

(前年同四半期比 △2.8%)  
(為替影響除く前年同四半期比 +6.5%)

営業利益

**63** 億円

(前年同四半期比 △37.2%)  
(為替影響除く前年同四半期比 +4.2%)

オフィス分野

MFP販売台数はカラー・モノクロ共に前年同期を上回りましたが、採算性の高い新製品の販売を十分に伸ばしきれず、為替換算や価格変動等による影響を吸収するに至りませんでした。

プロダクションプリント分野

カラー機は前年同期を上回りましたが、モノクロ機が低調となり、全体では前年並みの水準に留まりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

[▲ ページトップへ戻る](#)

【オプト事業・9ヶ月累計】

<2010年4月1日～2010年12月31日>

顧客先での生産調整影響を受け、主要製品が伸び悩む

売上高 **994** 億円  
(前年同期比 △3.1%)

営業利益 **100** 億円  
(前年同期比 △2.4%)

ディスプレイ部材分野	VA-TACフィルム（視野角拡大フィルム）は前年同期を下回る状況が続きましたが、薄膜タイプ・超広幅のTACフィルムが伸長し、全体の販売数量は前年並みの水準を維持しました。
メモリー分野	光ピックアップレンズ、ガラス製ハードディスク基板ともに販売数量は前年同期を上回りましたが、10年夏からのデジタル家電全般にわたる生産調整影響を受け、当初期待していた水準には到達しませんでした。
画像入出力コンポーネント分野	デジタルカメラやビデオカメラ向けレンズユニットの販売数量は前年同期を上回りましたが、カメラ付携帯電話向けは大きく減少しました。

【オプト事業・3ヶ月】

<2010年10月1日～2010年12月31日>

生産調整の影響が長引き、TACフィルム以外は低調な推移となる

売上高 **302** 億円  
(前年同四半期比 △5.8%)

営業利益 **20** 億円  
(前年同四半期比 △50.9%)

ディスプレイ部材分野	VA-TACフィルム新製品の出荷も開始され、10月を底に回復基調となりました。
メモリー分野、 画像入出力コンポーネント分野	デジタル家電全般における生産調整局面が長引き、総じて低調に推移しました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

【ヘルスケア事業・9ヶ月累計】

<2010年4月1日～2010年12月31日>

[▶ 事業セグメントの変更について](#) □



フィルムレス化の進行により減収減益

売上高

**625** 億円

(前年同期比  $\Delta$  18.2%)

営業利益

**5** 億円

(前年同期比  $\Delta$  61.6%)

主力のデジタルX線画像診断領域において、小型CR「REGIUS（レジウス）MODEL 110」をはじめとしたデジタル機器の販売台数は前年同期を上回りましたが、フィルム製品の販売が減少、また為替の円高影響も受けました。

【ヘルスケア事業・3ヶ月】

<2010年10月1日～2010年12月31日>

デジタル機器の販売が伸長

売上高

**175** 億円

(前年同四半期比  $\Delta$  25.1%)

営業利益

**0** 億円

(前年の営業損失から黒字転換)

フィルム製品の販売減少が続く一方、デジタル機器の販売台数は伸長し、営業利益は黒字となりました。なお、前年同四半期の営業損失には、情報機器事業に編入された印刷部門の営業損失が含まれております。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

## 財政状態



流動資産は、社債の発行により手元資金が増加する一方、売上債権が減少しました。固定資産は、オプト事業の建物や機械装置等が取得により増加した一方、全体として償却が進んだことにより減少しました。これらの結果、総資産は微減少となりました。



負債は、仕入債務や賞与引当金が減少した一方、社債発行に伴い有利子負債が増加したことにより、微増となりました。純資産は、円高による為替換算調整勘定の変動により、減少しました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。



## トピックス

### 経営関係



平成22年度東証上場会社表彰「企業行動表彰」を受賞

▶ [プレスリリース](#)



「2010年度 IR優良企業賞」を受賞

▶ [プレスリリース](#)

### 事業関係



カラースキャナー搭載のデジタルモノクロ複合機「bizhub 602/502」新発売

▶ [プレスリリース](#)

<製品情報>

▶ [bizhub 602/502](#)



米国ITサービス会社 All Covered Inc.を買収

▶ [プレスリリース](#)



デジタル複合機「bizhubシリーズ」が米国の『2011 MFP Line of the Year』を受賞

▶ [プレスリリース](#)

<製品情報>

▶ [「bizhub C360」](#)、[「bizhub C280」](#)、[「bizhub C220」](#)

▶ [「bizhub C452」](#)

▶ [「bizhub C652DS/C552DS」](#)

▶ [「bizhub C652/C552」](#)（従来製品）



デジタルモノクロ複合機「bizhub 423/363/283/223」が『グッドデザイン金賞』を受賞

▶ [プレスリリース](#)

<製品情報>

▶ [bizhub 423/363/283/223](#)



太陽電池の性能評価をサポートする高精度な計測機器を新発売

▶ [プレスリリース \(1\)](#)

▶ [プレスリリース \(2\)](#)

<製品情報>

- ▶ [Reference PV Cell AK-100/AK-110](#)
- ▶ [Reference PV Cell AK-200](#)

## CSR関係

---



「Global 100 世界で最も持続可能な100社」に選出

- ▶ [プレスリリース](#)



「第11回テレワーク推進賞」奨励賞を受賞

- ▶ [プレスリリース](#)



デジタル複合機、プリンターが中国環境ラベルを取得

- ▶ [プレスリリース](#)



「エコプロダクツ2010」に再生型デジタルモノクロ複合機「bizhub 750RM」を展示

- ▶ [プレスリリース \(1\)](#)
- ▶ [プレスリリース \(2\)](#)

<製品情報>

- ▶ [bizhub 750RM/600RM](#)

## その他

---



コニカミノルタテクノロジーレポート2011年版 (Vol.8) 公開

- ▶ [レポート掲載ページ](#)